

～やっぱいいなあ大関～

やっぱいい大関

2020年2月号
Vol.23

大関まちづくり協議会・大関コミュニティセンター



コウノトリ 石黒政子さん撮影

もくじ

●表紙写真	(1)
●令和2年大関地区 区長・団体長等合同会議	(2)
●大関地区敬老のつどい	
●大関区民わくわく事業 第5回わくわくドッヂビー大会	(3)
●光のカーテン事業	
●クリスマスチャリティーコンサート	(4)
●大関助け合いのまちづくり事業	(5)
●燕第一地区まちづくり協議会との交流事業	
●友遊ひろば	(6)
●友遊ひろば・応援横断幕	(7)
●ガンバ大関!!	(8)
●編集後記	



◆大関区民わくわく事業 第5回わくわくドッヂビー大会

わくわく交流部会
大関地区体育協会

令和元年11月3日(日)第5回わくわくドッヂビー大会が大関小学校で開催されました。

子どもの部では、低学年・高学年それぞれ3チームによる総当たりリーグ戦。

大人の部は、12チームによるトーナメント戦(敗者復活戦あり)で熱戦を繰り広げ、大関ちびっ子ファイターズ・CCチキン・上蔵区が激戦を勝ち抜き優勝を飾りました。会場では子どもたちが大声で「〇〇区ガンバレー」と一生懸命に応援する姿も見られ大変盛り上がった楽しい一日を過ごすことが出来ました。多目的ホールには、軽食コーナーが設けられチームの繋がりはもちろんさまざまな方と楽しく交流を深めました。

今大会を開催するに当たり、会場を提供して頂いた大関小学校をはじめ準備・運営にご協力頂きました関係各位の皆様に厚くお礼申し上げます。わくわく交流部会では、大関地区の皆様が笑顔で楽しく参加できる事業を企画して、多くの皆様の参加を心からお待ちしております。



◆光のカーテン事業

防災環境部会・青少年育成坂井市民会議大関支部

令和元年も、11月23日勤労感謝の日にイルミネーションの設置作業を実施しました。当日まで、雨が心配でしたが、まずは天候の中、大関コミュニティセンターとえちぜん鉄道大関駅に例年どおりイルミネーションを設置しました。

寒い時期、コミセンの前を通る人の心の安らぎになれば…。大関駅を通勤、通学、買い物などで利用している人を光の出迎え…。駅を通過する人の目に大関光を…。寒い冬の光は心を温かくし、また、防犯・環境にも役に立てばとの思いから設置しました。



◆令和2年大関地区 区長・団体長等合同会議

令和2年第1回大関地区区長会および区長・団体長等合同会議が令和2年1月26日(日)、大関コミュニティセンターにおいて開催されました。

第1回区長会においては、今年の区長会長に東中野区の定永秀典さん、副会長に大関大正区の北口利雄さん、東区の伊藤享美さんが選出され、今年1年間まちづくり協議会とともに大関の活性化に取り組むことなどを確認しました。



引き続き開かれた区長・団体長等合同会議においては、それぞれの団体から1年間の活動状況の報告がありました。大関まちづくり協議会からは、資料をもとに1年間の活動報告を行いました。



◆大関地区敬老のつどい

実行委員会



令和元年9月29日(日)に大関地区敬老のつどいが盛大に開催されました。つどいには、大関地区の75歳以上の88名が出席され、日頃会えない御友人とのおしゃべりや、アトラクションなどを楽しんでいただきました。

当日は、大関保育園児による和太鼓や踊り、大関小学校児童のハンドベル・ダンス・合唱などが披露されると、参加者は園児や児童に温かなまなざしを向けながら大きな拍手を送り続けています。

した。午前の部の最後は、交通安全母の会が「免許返納のススメ」の寸劇で高齢者の交通安全を訴えました。

昼食後には、抽選会が行われ当選番号が読み上げられるたびに歓声とため息が交えて楽しいひと時を過ごしました。

午後のアトラクションでは、最初に美山の名物おじさん百戸田吾作さんがどうようすくいを披露。また、実力派演歌歌手、松志保美さんの歌謡ショーも行われ、素晴らしい歌声に聞き入っていました。



◆大関助け合いのまちづくり事業

平成27年度からスタートした「大関助け合いのまちづくり事業」は、令和元年度はプランの実践に入り、二つの事業を取り組みました。

●大関えがおプロジェクト

大関えがおプロジェクト(あいさつロード看板、ゴミ箱作り)では、大関小学校の児童が「あいさつロード」の看板を制作し、大関地区の5カ所に設置。住民からは、元気な挨拶の声が聞こえて頼もしい、との声も聞かれました。また、分別用のゴミ箱も制作し、敬老のつどいやドッヂビー大会で広く活用することができました。



●学校deキャンプ

台風の怖さの余韻が残る10月19日(土)、大関小学校の体育館にて1泊2日の避難所体験を行いました。参加者には災害備蓄庫に詳しくなってもらおうと、避難所運営ゲームに取り組んでもらいました。運営本部に寄せられた避難所利用者の悩み(寒い、暗い、お腹が空いたなど)のお題を、実際の災害備蓄庫を活用し解決してもらいました。その他にも、段ボールベッド作り、消防団による水消火器を使用した消火訓練も行いました。1番好評だったのは、日赤奉仕団、食生活改善推進員の方々といっしょに作った夕食でした!「美味しい」と驚き、喜ばれました。各種団体、個人のご協力のおかげで、盛りだくさんの避難所体験となりました。



◆燕第一地区まちづくり協議会との交流事業

令和元年11月16日(土)大関小学校と同じ表記の「大関(おおせき)小学校」があることをきっかけに、平成21年度より地域間交流を続けている、新潟県燕市の燕第一地区まちづくり協議会の皆さん方がここ大関を訪れ、互いの事業報告や今後のまちづくりに向けた意見交換を行いました。限られた時間でしたが、旧交を深め有意義な交流の場となりました。次回は、令和3年にこちらから燕市を訪問する予定です。



推進委員会



◆クリスマスチャリティーコンサート

いきいきフレンドリー部会

令和元年12月22日(日)大関コミュニティセンターでクリスマスチャリティーコンサートを開催。

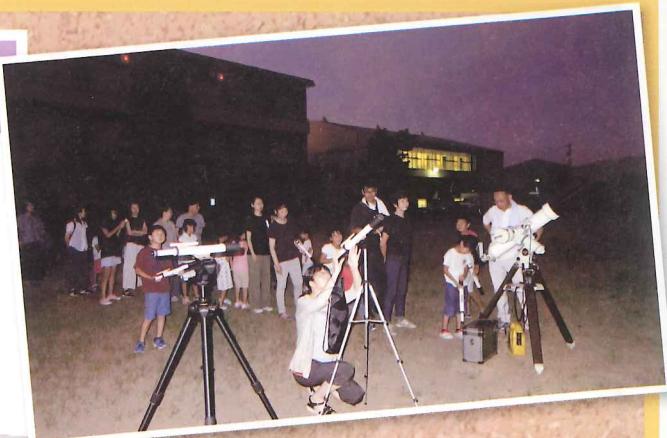
坂井きらめきの利用者さん達のアカペラと合唱で幕開け。自称本番に弱い大関ランチャーズの迫力満点のバンド演奏、そして、澄み渡ったきれいな歌声のナナ・イロ。芸人のモグモグパクパクと出演者とのいじり合いや楽しいトークで会場は大盛り上がりでした。ステージの後ろはイルミネーションが輝きとてもきれいでクリスマス気分を満喫できました。

今回クリスマスチャリティーコンサートに参加された方、募金協力ありがとうございました!



望遠鏡づくり&星空観察

8月9日(金)望遠鏡づくり&星空観測を行いました。小さいながらも高性能の望遠鏡ができ上がり「月のクレーター」や「木星」を観察しました。「月のクレーターを初めて見て感動した!」「次はいつやるの~。また参加したい!」など、うれしい声が聞かれました。



大関コミュニティセンター講座



おいしい! 越前カンタケができた!

11月12日(火)越前カンタケ(福井県特産ブランド品認定)栽培教室を開催しました。参加者からは「初物のカンタケは鍋料理に入れて家族みんなでおいしくいただきます」との声が届きました。



私にもできた! DIYに挑戦!

8月21日(水)DIY教室を開催しました。「かわいい棚」や「マガジンラック」を作成。DIYの楽しさが分かり家でも作ってみたいと意気込んでいました。



野菜たっぷり洋風ランチ

9月3日(火)料理教室を開催しました。旬の野菜をふんだんに使い、フライパンひとつで簡単にできるホットサンドやプロッコリーと根菜のクラムチャウダースープなどを作りました。



●応援横断幕

大関地区区長会と大関まちづくり協議会では、地域で活躍しさらに成長する「大関の星」を地区住民の方々に広く知つてもらい応援いただけるよう大関コミュニティセンターに横断幕を掲示しています。



区長会共催

レクリエーション & 工作

放課後子ども教室



9月5日(木)と19日(木)に「ネット・バス・ラリー」と「ペアリングキャッチ」を行いました。児童らは苦戦しながらも楽しくプレーをしていました。



10月1日(火)は「おはなしヌックさん」による読み聞かせを行いました。昔ばなしやなぞなぞなど、ちょっと怖い話もあり、児童らは、興味津々に耳を傾けていました。



10月3日(木)と17日(木)に「卓球バレー」を行いました。卓球バレーは、卓球とバレーボールを合わせたもの。ルールも簡単なので、児童らはすぐに楽しめた。コツをつかみ、考えながら球を打ち合いました。



11月7日(木)に紙皿とビニール袋でホバークラフト作りを行いました。ビニール袋に空気をためるだけで、スイスイ滑るホバークラフトの出来上がり! 誰の作品が一番よく滑るか競い合いました。



12月5日(木)にCDとビー玉を使って「CDごま」を作りました。ビー玉をつまんで回すと驚くほどきれいに回転しました。



12月19日(木)は、ヤクルトの容器に毛糸やフェルトをボンドで貼り「毛糸deサンタ」を作りました。個性あふれるかわいいサンタさんに仕上りました。



ガンバ大関!!!



大関まちづくり協議会では、大関在住者や出身者の方々が地区内外で頑張っている姿を紹介します！

今回のガンバ大関は、大味上区の高橋和枝さんをご紹介します。高橋さんは、長年にわたり小学校の読み聞かせボランティア、登校時の見守り活動に貢献されています。このたび、その活動が高く評価され、1月22日に開催された坂井市ふるさとづくり大会において坂井市民運動実践者の表彰を受けられました。おめでとうございます。

Q.学校ボランティアを始めたきっかけは？

長年、こどもたちに関わってきたので、元大関公民館長に誘われて、読み聞かせやおしゃべりタイムの活動に参加させていただいています。



Q.読み聞かせや見守りは毎週されているようですが、児童との関係はいかがですか。

週1回の読み聞かせの本を探すのは大変ですが、何を読もうかと思いつながら図書館へ通うのが楽しみです。15分間の読み聞かせですが、こどもたちがお話の中に入り込んでくる瞬間は、私にとっても、楽しいと感じる瞬間もあります。

また、見守り活動は、朝しか参加できませんが、大関っ子のあいさつがとても元気で、一日私も元気に過ごすことができます。

Q.読み聞かせや見守りにやりがいを感じるときはどういうときですか。

読み聞かせも、見守りも、こどもたちの素直な反応を見られるのが楽しいです。

月1回のおしゃべりタイムでは、折り紙やレクリエーションを通して、こどもたちとおしゃべりしコミュニケーションをとっていますが、こどもたちの様子を知ることができるのはとても大切なことだと思います。



Q.これから学校や児童との関わりについてお聞かせください。

こどもと高齢者が一緒にになって何かできないかなと思います。集落へ出向いて地区の高齢の方とこどもたちが触れ合うことが大切なことだと思っています。

Q.将来の宝である子供たちへひと言お願いします。

大関のこどもたちは、素直でとても元気です。みんな「ありがとう」と言える素直なこどもに育ってほしいと願っています。

◆編集後記◆

令和最初の新年を迎え、大関地区の皆様には健やかにお過ごのこととお慶び申し上げます。

昨年8月には当地区で誕生したコウノトリのひな4羽全て元気に巣立ちました（表紙）。昨年は、まち協事業のほか「大関助け合いのまちづくり事業」から大関小学校の子供たちやまち協以外の方が中心となった事業も実践され、おはようご

ざいます・こんにちは！と子供達の元気な挨拶があちこちで聞かれるようになり、心が晴れ渡るとともにまちづくりに関心が高まってきていると実感しています。私たちまち協でも皆様のご協力を得て、安全・安心で笑顔があふれるまちづくりを目指して事業を進めていきます。多くの皆様にご参加頂き「やっぱいいな～大関！」の声がどんどん広がる事を心待ちにしています。（K・A）

